

SNS型投資・ロマンス詐欺 に注意！



福井県警によると、令和7年のSNS型投資・ロマンス詐欺の被害は、令和6年に比べ44件増、被害額は約5億3120万円増となっており、1件当たりの最高被害額は約2億4200万円だったとの報道がありました。

詳細を見ていくと、SNS型のうち、著名人らをかたり、うその投資話を持ちかけて金銭をだまし取る投資詐欺は34件、被害額約4億6990万円。外国人や海外在住の日本人を名乗り、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭をだまし取るロマンス詐欺は31件、被害額約4億9420万円と2つ合わせた被害金額は約9億6410万円となっています。

SNS型投資詐欺の状況

SNS型投資詐欺は、SNSやマッチングアプリ等で接触し、対面することなく投資を勧誘して金銭をだまし取る犯罪です。最近では若年層への被害も急増しています。

⚠️ 主な手口

- 著名人へのなりすまし

著名な投資家やタレントの写真を悪用した「投資広告」からLINEグループへ誘導します。



- 偽の利益表示

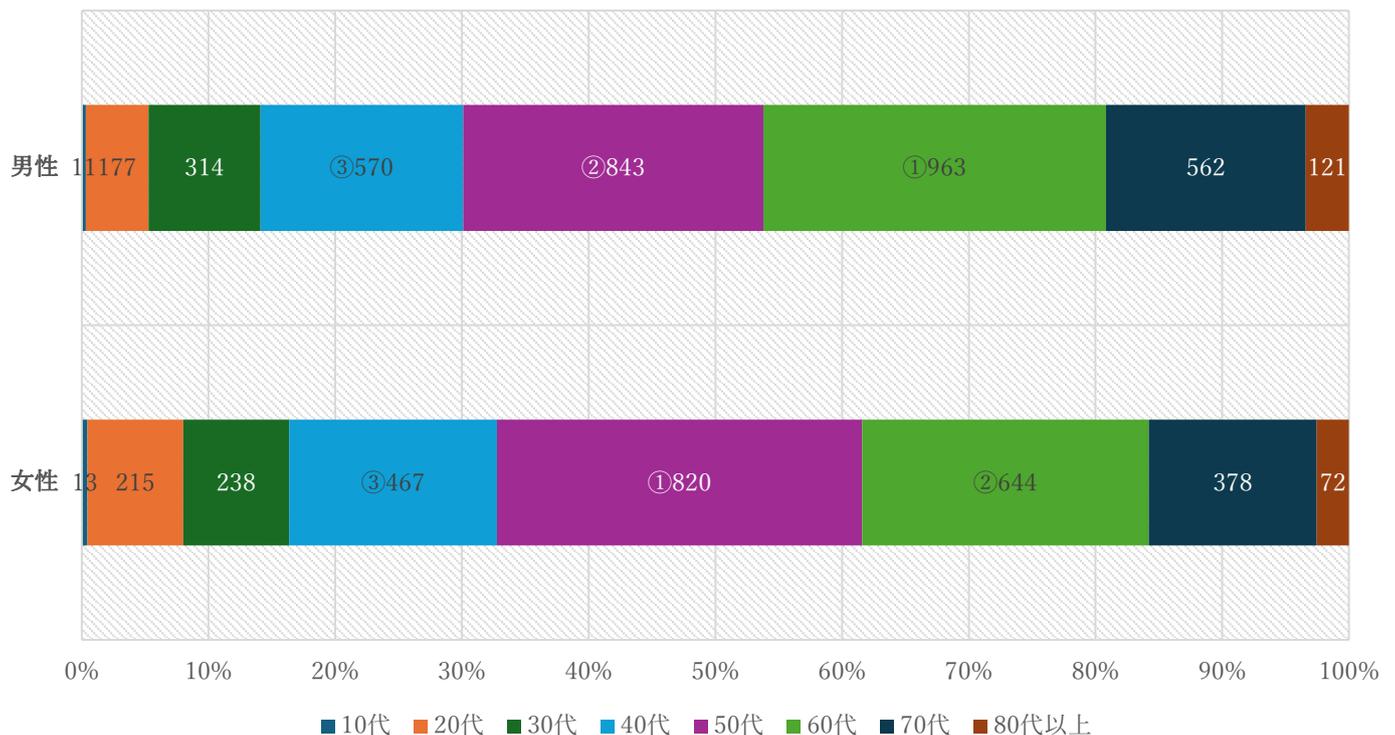
偽の投資アプリやサイト上で「利益が出ている」ように見せかけ、さらに高額な送金を促します。

- 出金制限と追加請求

利益を引き出そうとすると「税金」や「手数料」名目で追加送金を要求し、最終的に連絡が途絶えます。

⚠️ 被害者の性別・年齢層

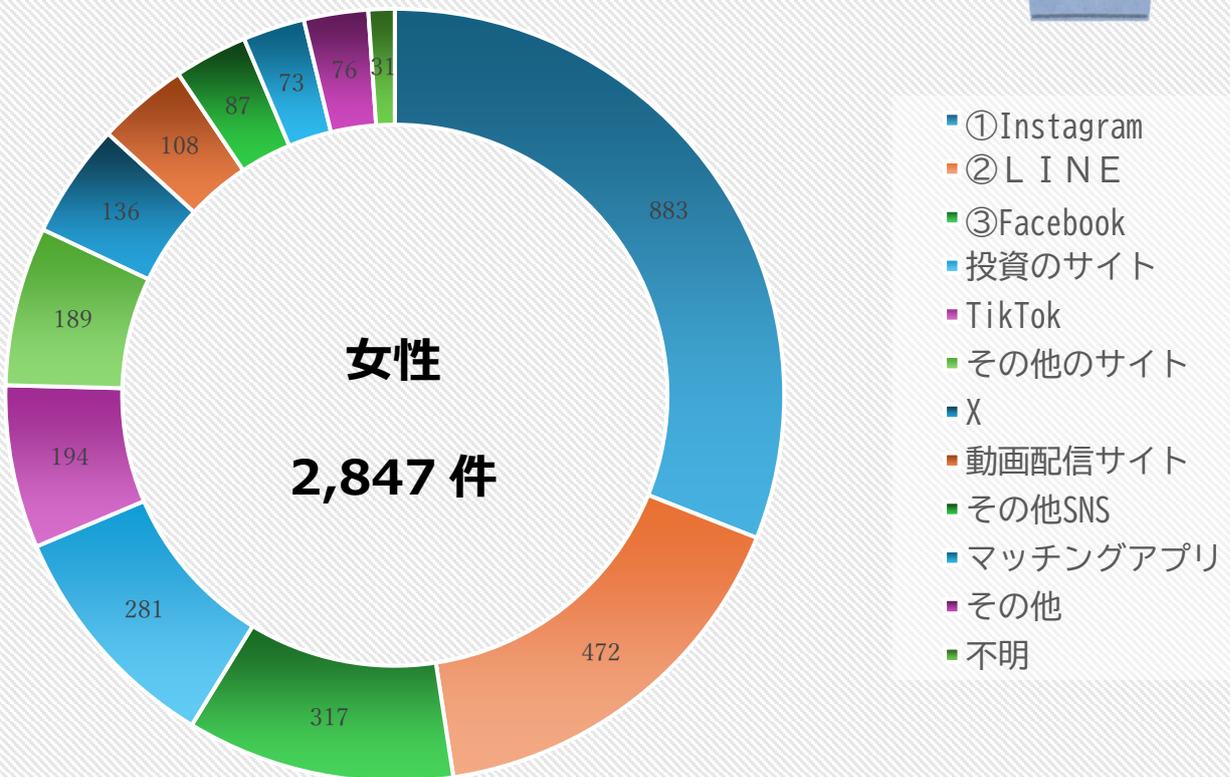
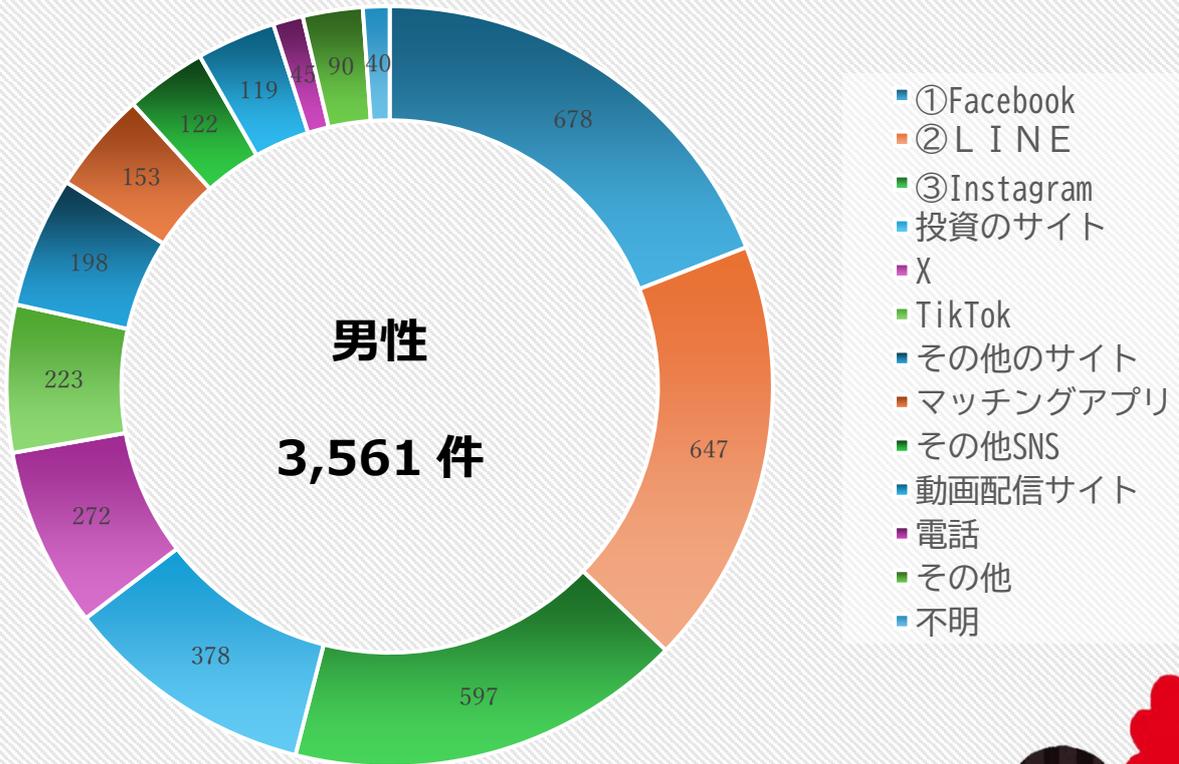
被害者は男性が3,561人、女性が2,847人



※ 警察庁 HP「令和6年における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より



犯行に使われたツール（令和6年 全国の被害を対象）



※ 警察庁 HP「令和6年における特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より



注意すべき点

- 振込先が「**個人名義**」の口座である

最も明確な詐欺の兆候です。正規の証券会社や運用会社が、投資金の振込先として個人名義の銀行口座を指定することは絶対にありません。

- 「**元本保証**」や「**絶対儲かる**」という言葉

投資において、利益を確約したり元本を保証したりする

行為は法律（金融商品取引法）で禁止されています。LINE グループなどに招待され、他の参加者（サクラ）が「儲かった！」と投稿して信じ込ませる手口も一般的です。



- アプリ画面上の「偽の利益」

犯人が指定した独自の投資アプリをダウンロードさせられる場合があります。画面上では資産が増えているように見えますが、それは犯人が操作しているだけの数値です。**最初だけ少額の出金を許可し、「本当に引き出せる」と安心させてから多額の送金を促す手口が非常に多いです。**

- **著名人を騙る**「偽広告」や「LINE 誘導」

Instagram や Facebook で著名人・有名人の写真・動画（AI 合成含む）を悪用した広告が増えています。広告をクリックして直接 LINE 登録を促される場合は、ほぼ詐欺と考えて間違いありません。

SNS 型ロマンス詐欺の状況

SNS 型ロマンス詐欺とは、マッチングアプリや SNS で知り合った相手と直接会わずにやり取りを続け、恋愛感情や親近感を利用してお金をだまし取る犯罪です。

主な手口



- マッチングアプリ・恋活婚活サイト

きっかけは「プロフィール検索」「マッチング」「いいね」。

手口は、モデルや経営者、国際的な専門職（医師、エンジニア、軍人など）のプロフィール写真（美男・美女）を悪用します。

熱烈なアプローチですぐに「好き」「結婚したい」と言い、早い段階で LINE や WhatsApp などのチャットアプリへ誘導され、**「2人の将来のために」と言って、暗号資産（仮想通貨）や投資サイトの利用を勧めてきます。**

- SNS（Instagram, Facebook, Twitter/X など）

きっかけは「フォロー」「いいね」「コメント」「DM」。

手口は、共通の趣味（旅行、料理、投資）を装い、コメント欄や DM で親しくなったあと、**「あなただけが理解者」と特別扱いし、他の人には秘密にするよう求めて信頼を得ます。**

日常的な会話で親近感を醸成し、油断したところで、経済的な困窮や「投資のチャンス」を語り始めます。

- ビジネス・投資系 SNS（LinkedIn など）

きっかけは「仕事の相談」「共通のビジネス仲間」「スカウト」。

手口は、成功したビジネスマンを装い、**暗号資産の運用やFX投資の話**を持ちかけます。その後、偽の投資サイトで「利益が出ている」ように見せかけ、追加の投資金や出金手数料を要求します。

- 知り合いを装ったDM・メール

きっかけは、間違いを装ったメールや、知らない相手からの「久しぶり」というメッセージ。

手口は、返信すると「**間違いだけど、ご縁なので**」と会話を続けようとし、そして徐々に恋愛感情を利用するシナリオへ移行していきます。

- 語学学習アプリ・オンラインゲーム

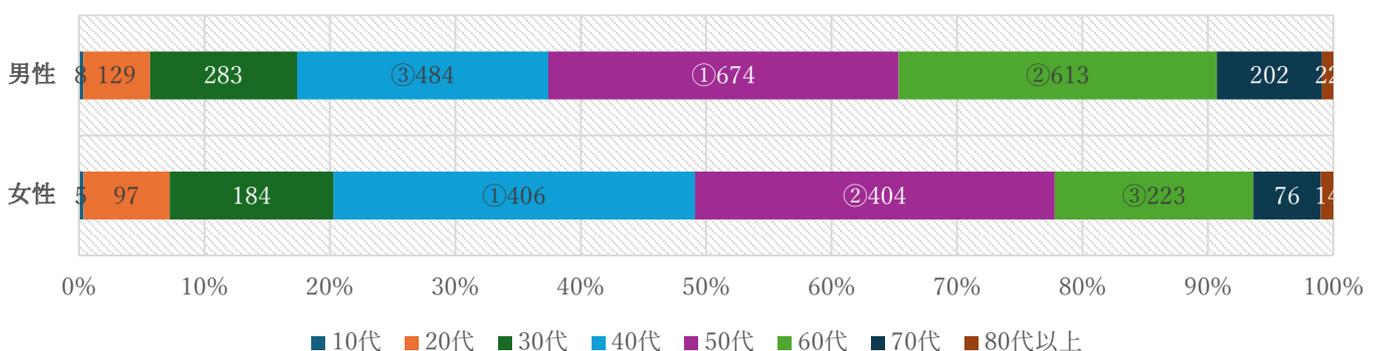
きっかけは「言語交換」「ゲーム内のチャット」。

手口は「親日家」「日本語を学びたい」などと近づき、徐々に個人的な話へシフトします。その後、**遠距離恋愛のパターン**に持ち込み、金銭要求に移行していきます。



被害者の性別・年齢

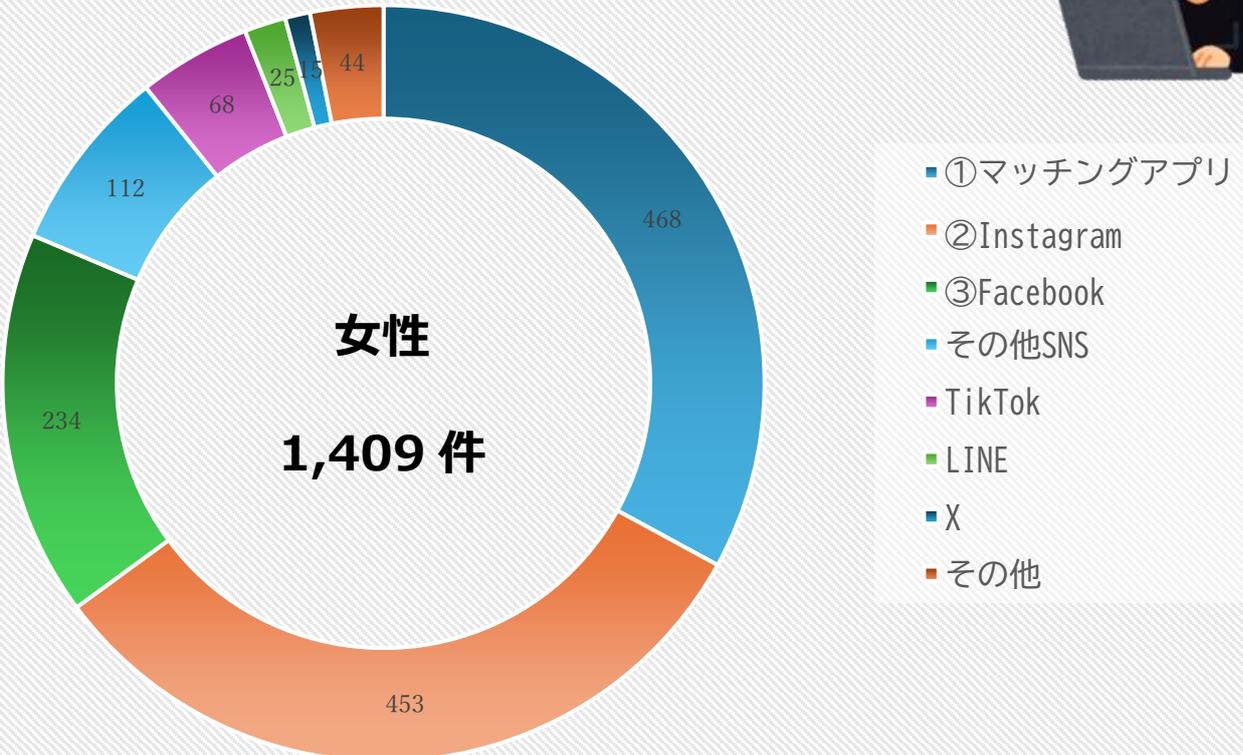
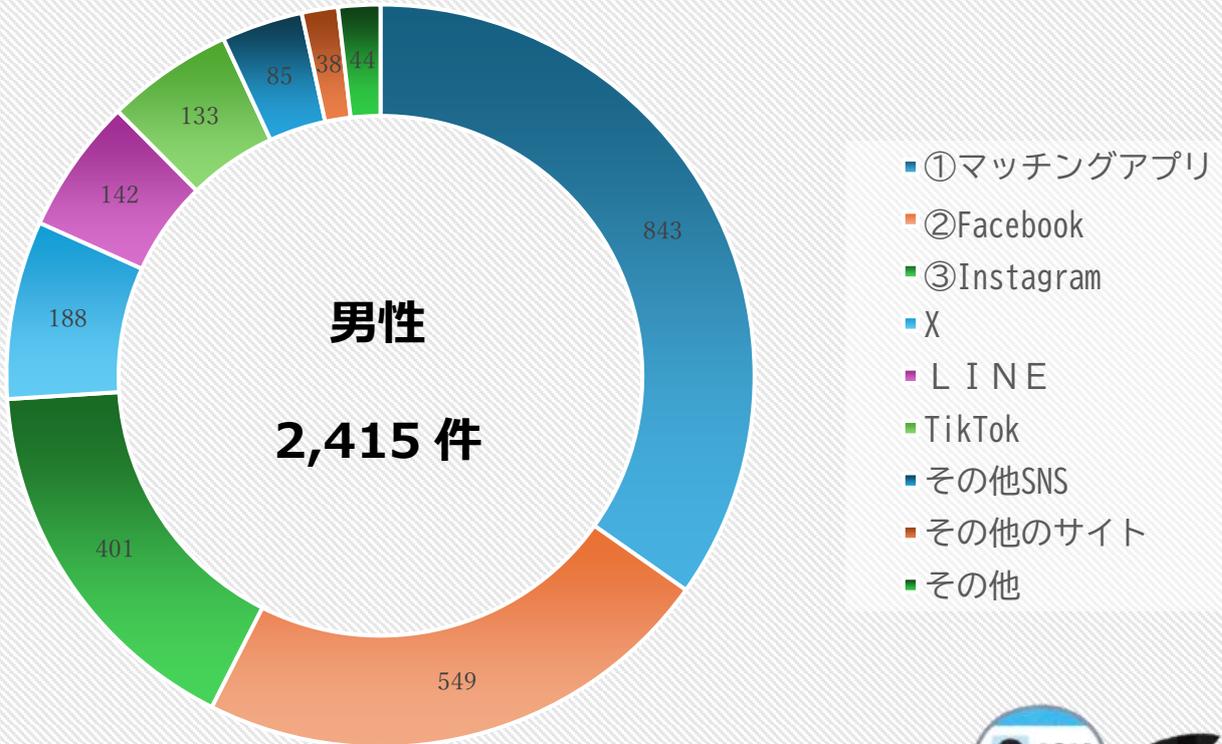
被害者は男性が2,415人、女性が1,409人





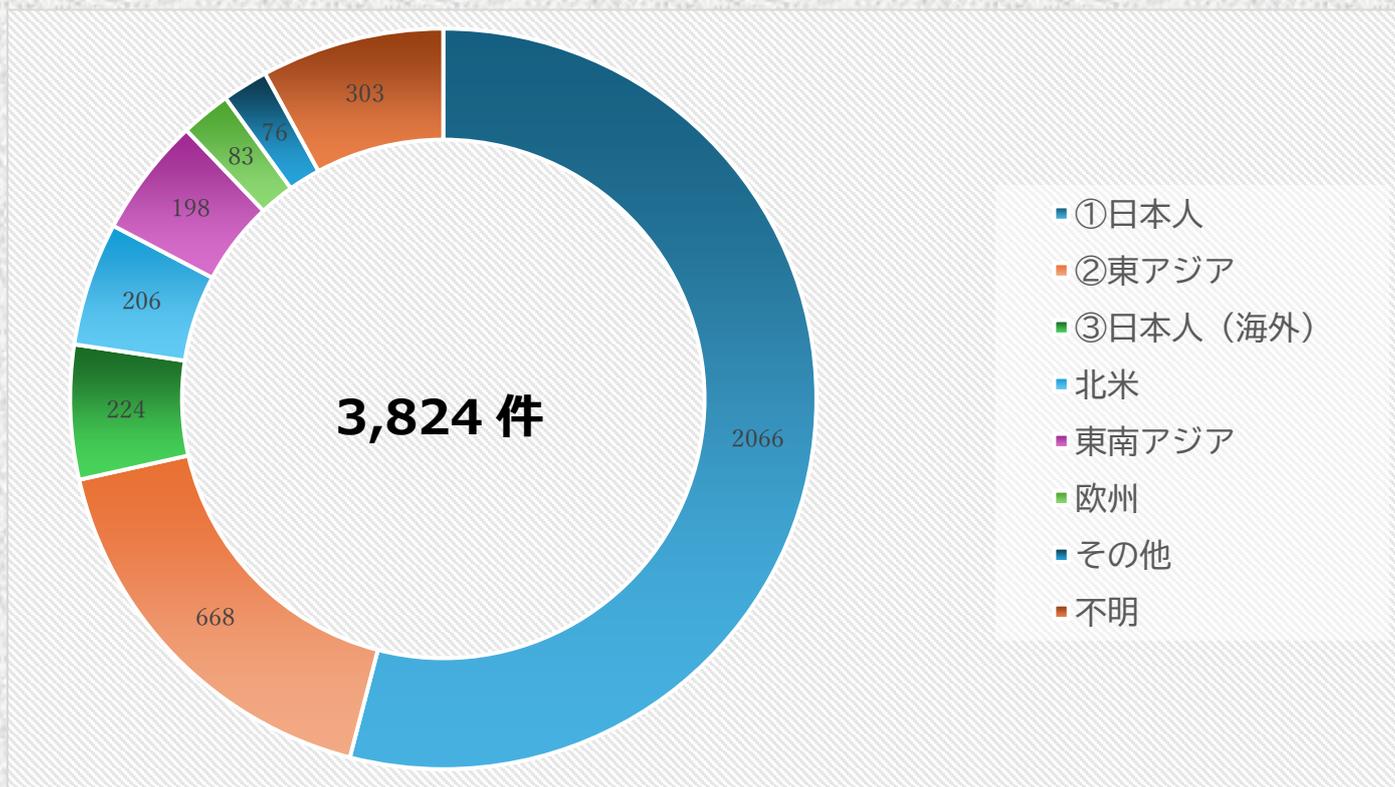
犯行に使われたツール等（令和6年 全国の被害を対象）

● 接触ツール



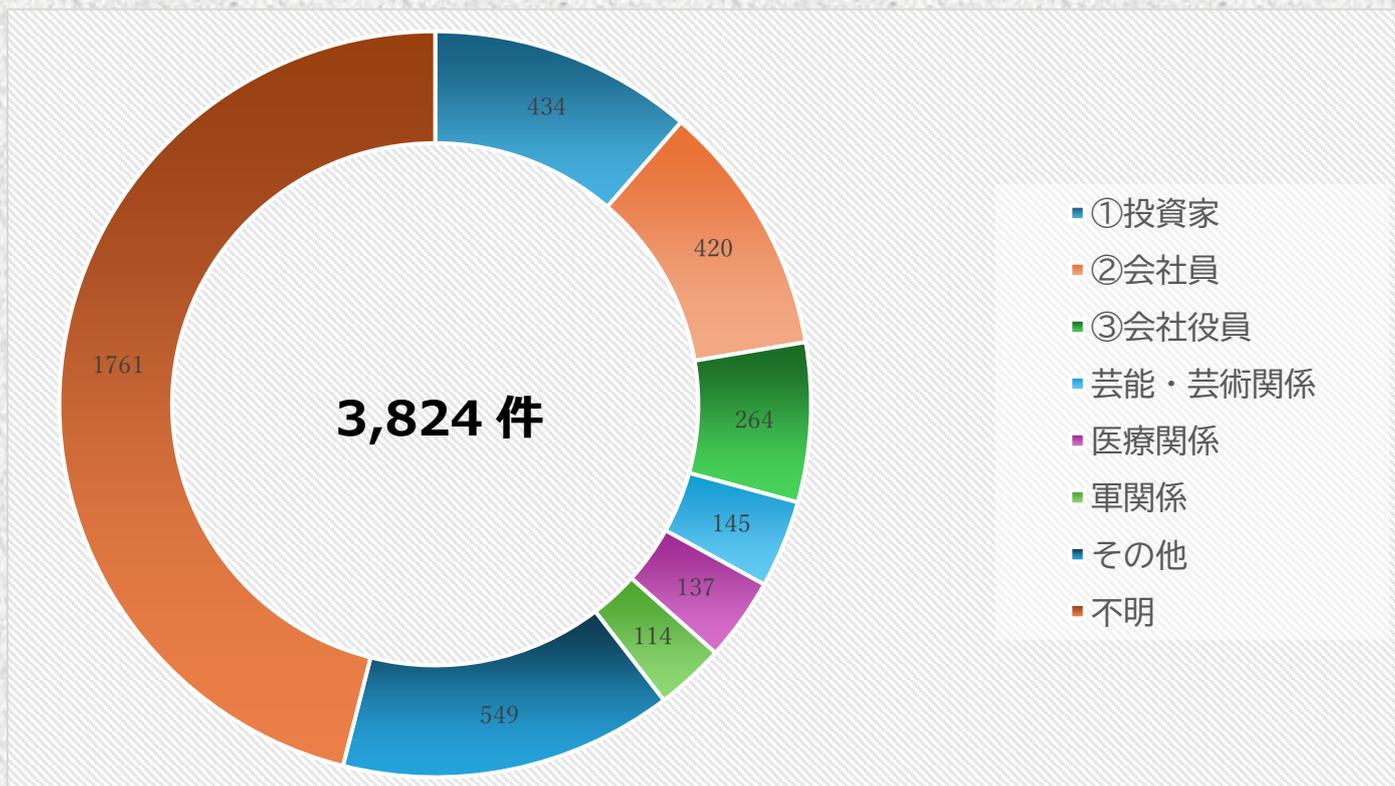
※ 警察庁 HP「令和6年における特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より

● 詐称した身分（地域・国籍）



※ 警察庁 HP「令和 6 年における特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より

● 詐称した職業



※ 警察庁 HP「令和 6 年における特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値版）」より

共通する詐欺の兆候

どのような出会いであっても、以下のような行動をとる相手は詐欺の可能性が極めて高いです。

直接会うのを避ける

「海外にいる」「仕事が忙しい」などと言い、対面を頑なに拒む。

熱烈すぎるアプローチ

出会って間もないのに「信頼できる」「絶対に儲かる」「愛している」「運命の人」などと言い、感情を高ぶらせる。

お金の話が出る

投資資金、緊急の治療費、日本への渡航費などを要求する。

支払いを特定の手段で要求

暗号資産、ギフトカード、海外送金を要求する。

不安を感じたら・・・

警察の専用相談窓口：#9110（24時間受付）

緊急ではないが、特殊詐欺の可能性のある相談や犯罪・事故の相談全般。

福井県警察本部の相談窓口は（0776-26-9110）

敦賀警察署の相談窓口は（0770-25-0110）

※ 緊急の場合は110番！！



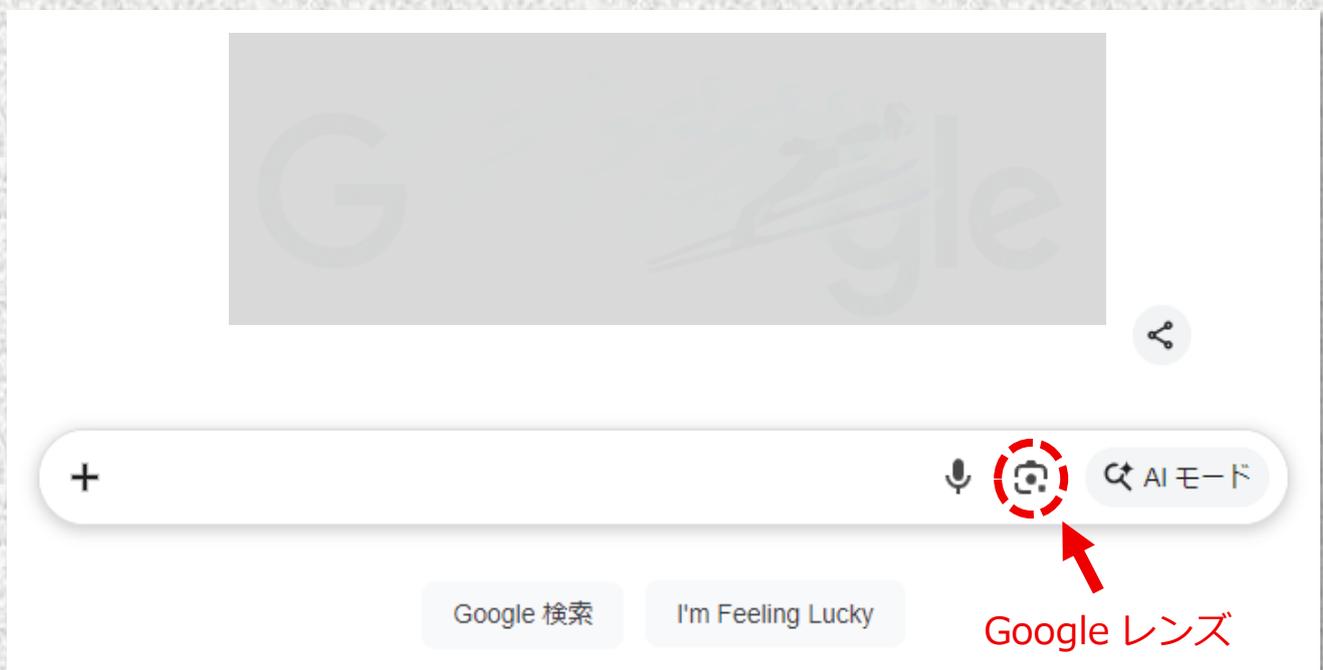
消費者ホットライン：188（局番なし）

最寄りの消費生活センターや市町(敦賀市の場合は敦賀市役所生活安全課内の消費生活センター)の相談窓口につながります。

※ 消費生活センターの受付は、平日の8：30～17：15の間です。

「画像検索」って知っていますか？

画像検索（特に Google レンズなどの逆画像検索機能）は、SNS 型ロマンス詐欺や投資詐欺、偽のショッピングサイト、なりすましなど、特殊詐欺の被害を未然に防ぐ非常に有効なツールです。犯人が使用するプロフィール写真や商品画像が、インターネット上の無関係な画像からの「盗用」であることがわかることがあります。



Google レンズの使い方

使い方は簡単です。

- ① まずパソコンまたはスマートフォンで Google を開いてください。
- ② 上記に示す「Google レンズ」マークをクリックしてください。
- ③ パソコンの場合、下記のような画面が出ますので赤枠に写真を入れます。



- ③—1 iPhone や iPad の場合、下記のような画面が出ますので、「フォルダボタン」を押してスクリーンショットまたは保存した画像を選択するか、もしくは、「虫眼鏡ボタン」を押して内蔵カメラで対象の写真を撮ってください。（この際に Google レンズから、カメラや写真フォルダへのアクセス許可を求めるメッセージが出ますので「許可」してください。）



- ④ ①～③の作業が終了すると画面下半分に画像検索した結果が羅列されます。



画像検索の具体的な活用方法

- SNS・マッチングアプリのプロフィール写真の検証

SNS型ロマンス詐欺などでは、美男美女や外国人、いわゆる富裕層といわれるような人物の写真が使われます。

【活用方法】

気になる相手のプロフィール写真を右クリックして保存（パソコンの場合）またはスクリーンショット、もしくはスマートホンのカメラで撮影し、Google レンズで検索します。

【判断の目安】

他人の写真や、フリー素材、他の詐欺サイトで使われている画像がヒットした場合は、詐欺の可能性が極めて高いです。

同じ人物が複数の名前で登録されている場合、なりすましの可能性があります。

- 「二セ」商品・投資案件の画像チェック

SNSや二セのショッピングサイトで、非常に安いブランド品や怪しい投資案件（仮想通貨など）の画像を見つけた場合です。



【活用方法】

その商品の画像を右クリックして保存（パソコンの場合）またはスクリーンショット、もしくはスマートホンのカメラで撮影し、Google レンズで検索します。

【判断の目安】

信頼できないサイトから画像を転用している場合、同じ画像が複数の異なるサイトで見つかる可能性があります。

● ニセ警察官・ニセ銀行員の画像チェック

警察や銀行員を名乗る犯人が、逮捕状や警察手帳の画像を SNS などですべて送ってくる事例が増えています。

【活用方法】

送られてきた画像を右クリックして保存（パソコンの場合）またはスクリーンショット、もしくはスマートホンのカメラで撮影します。

【判断の目安】

過去に別の詐欺事件で使われた画像や警察が公表しているニセ警察官画像などと一致するような場合、詐欺の可能性が高いです。

※ 注意！！ 警察は SNS で逮捕状などを送ることは絶対にありません。



画像検索のメリット

- 盗用を見抜ける

犯人はネット上の画像を使用することが多いため、類似画像検索で「どこで使われているか」を特定できる可能性があります。

- 偽プロフィール特定

AI 技術により、顔写真から複数のアカウントで同じ人物が使われているか判明する可能性があります。



活用上の注意点

- AI 生成画像への対応

犯人が AI で作った新しい画像を使用している場合、類似画像が見つからないことがあります。その場合は送られてきた文章の「文脈がおかしい」とか「話がうますぎる」などの他の要素で判断する必要があります。

また、特殊詐欺にしろ、SNS 型投資・ロマンス詐欺にしろ、その手口はどんどん進化しており、画像検索だけでは思ったほどの結果が出てこない可能性も十分考えられますので、**被害を防ぐためには、画像検索はあくまでも参考と**

し、まずは警察等の相談機関への早急な相談をお勧めします。



本資料に使用した警察庁広報資料「令和6年における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺」の認知・検挙状況等について（確定値版）」の掲載先については以下のとおりです。興味を持たれた方はぜひご覧ください。

【警察庁 HP アドレス】

https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/souni/tokusyusagi/hurikomesagi_toukei2024.pdf